令和８年度第１回（第 62 回）栗東歴史民俗博物館協議会 議事録

開 催 日 時　　令和８年 10 月６日（火曜日）10 時 00 分から 12 時 00 分まで

開 催 場 所　　栗東歴史民俗博物館　会議室

出　席　者

議 会 委 員　　宇野　日出生、大西　洋子、大橋　信弥、大屋　邦代、國賀　由美子、
小林　久祥、鈴木　元彦、髙宮　弘、西尾　悦子、林　優里

事　務　局　　中川　謙二（教育部長）
古谷　敦士（スポーツ・文化振興課　課長、歴史民俗博物館　館長）
中川　敦之（歴史民俗博物館　係長　　・　学芸員）
市田　悠人（歴史民俗博物館　主事補　・　学芸員）
岩坂　浩美（歴史民俗博物館　主査）

欠　席　者　　なし

傍　聴　者　　なし

概要

1．開会

2．協議事項

①令和８年度上半期の博物館事業について（報告）
②令和８年度下半期の博物館事業について
③令和８年度第２回（第 63 回）栗東歴史民俗博物館協議会の日程について
④その他

3．連絡事項

4．閉会

議事

1. 開　　会

開会の挨拶（中川　謙二　教育部長）
委嘱状の配布（新規委員机上配布）
栗東歴史民俗博物館協議会委員の紹介
事務局職員の紹介

2. 協議事項

①令和８年度上半期の博物館事業について（報告）

資料に沿って、事務局 中川　敦之　係長より説明。

（Ａ委員）３施設秋めぐりスタンプラリーを今年度も実施した方が良いのではないか。

（係　長）昨年度は約１ケ月の長期期間で実施。今年度は日を２日間に絞って開催することから、実施は難しい。

図書館の独自事業として実施することから、この事業をＰＲしていく。

（Ｂ委員）ミニ展示「豊臣政権を支えた栗太武士　宮城豊盛」開催時期に栗東観光協会において戦国武将などをデザインした武将カードの作成・配布を検討されていたが、連携はどうしていたのか。

（Ｃ委員）企画展「近江栗太郡志」100 年～地方史の記憶を未来へ～中川泉三も良い展示だった。このような展示など、内容について事前に協議できればよい。

（係　長）早い段階から協議を行えるよう、連携を深めていきたい。

（Ｄ委員）何を使って広報を行っているのか。ＳＮＳなどネットを使うとお金もかからずＰＲしていけるのではないか。

（係　長）現在、チラシ・ポスター配布・博物館ホームページで広報を実施している。幅広い方法で広報できるように検討していく。

（Ｅ委員）館のＰＲにつながるよう、美術展・講演会など施設やロビーなどもっと貸館を行ってはどうか。

（係　長）毎年「栗東市青少年美術展覧会」「滋賀県教育美術展」で貸館を行っている。

②令和８年度下半期の博物館事業について

資料に沿って、事務局 中川　敦之　係長より説明。

（委員からの質問はなし）

③令和８年度第２回（第 63 回）栗東歴史民俗博物館協議会の日程について

事務局よりいくつかの候補日を提示していた日程から、委員間での協議の結果、

・令和９年２月９日（火曜日）10 時 00 分開会　に決定した。

④その他

ネーミングライツについて

・事務局　中 川 敦 之　係長より、市の方針として各施設で取り組んでいくよう方向性の説明があったことを説明。

（Ｅ委員）ネーミングライツとはどのようなものなのか。

（係　長）企業などが公共施設やスタジアムなどの名称（愛称）を付ける権利を買う仕組みです。自治体が対価を得て、施設の維持管理費などに充てます。

（Ｆ委員）博物館にメリットはあるのか。

（係　長）草刈りや低木の剪定などの経費に使用していくことを検討中。

（Ｃ委員）年間いくらぐらいの金額を想定しているのか。

（係　長）３０万円を想定している。

（Ｆ委員）自治体が行うクラウドファンディング型ふるさと納税があり、事業の具体的なプロジェクトとして公開し、寄付する人が共感したプロジェクトは選んで支援するガバメントクラウドファンディングがあり、寄付金の使い道をより具体的に選べるのが特徴で、博物館も検討してはどうか。

（Ｄ委員）寄付金の受け皿は市又は博物館どちらになるのか。明確に区分分けをしておいた方が良い。

（Ｆ委員）どういう事に使われているのか分かるように予算を明確にしておいた方が、寄付をする企業側もメリットがある。

（会　長）展覧会のチラシに企業名が掲載されるのはメリットがある。

（Ｂ委員）良い展覧会を何本もすれば、企業にとってもメリットがある。

（会　長）見に行きたいと思う内容の展覧会を開催できれば、企業の応募があるかもしれません。

（係　長）ネーミングライツの実施の有無については、次回の博物館協議会の中で協議を図っていきたい。

収蔵庫の見学について

・施設の現在の状況を実際に見学し、現状と課題について把握いただく。

3. 連絡事項

特集展示「平和のいしずえ 2026～戦争と地域の人びとの生活」展を現在。第二展示室に展示しております。

4. 閉　　会